

記者発表資料



令和7年2月12日 市民局生活文化スポーツ部 文化振興課 (千葉国際芸術祭実行委員会事務局) 245-5261

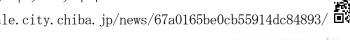
千葉国際芸術祭 2025 のプレ企画「先生たちのアートアンデパンダン展」を開催します ~中村政人総合ディレクターによる作品鑑賞会も開催されます~

千葉市では、令和7年度に開催予定の千葉国際芸術祭2025に向けて、プレ企画「先生た ちのアートアンデパンダン展」を開催しますので、お知らせします。

また、2月22日(土)に千葉国際芸術祭 2025 総合ディレクター中村政人氏とともに本 企画展を巡る作品鑑賞会も開催されますので、併せてお知らせします。

### 1 概要

- (1) イベント名称 先生たちのアートアンデパンダン展
- (2) イベント概要 市内学校教員などの先生たちによる絵画、彫刻、写真等の自由な表現作品の鑑賞がで きます。
- (3) 開催日程 令和7年2月19日(水)~3月2日(日)各日9:00~19:00 ※最終日3月2日(日)のみ17:00閉場
- (4)会場 きぼーる1階 アトリウム(中央区中央4-5-1)
- (5) 入場料 無料
- (6) 千葉国際芸術祭 2025 公式ティザーサイト [URL] https://artstriennale.city.chiba.jp/news/67a0165be0cb55914dc84893/

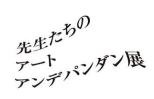


# 2 中村総合ディレクターと巡る作品鑑賞会

(1) 開催日程

令和7年2月22日(土)  $13:00\sim14:30$ 

- (2)会場 きぼーる1階 アトリウム (中央区中央4-5-1)
- (3) 入場料 無料
- (4)参加方法 事前申し込み不要。直接会場にお越しください。







中村総合ディレクターによるイメージビジュアル

#### 3 取材について

現地取材を希望される場合は、取材希望日の2日前(閉庁日の場合は前の開庁日)までに文化振興課(電話245-5261)までご連絡ください。また、取材の際は、貴社腕章を着用してください。

### く参考>

#### 1 千葉国際芸術祭とは

千葉市では、市制100周年記念事業の一つとして、また、文化プログラムとして令和3年度に「千の葉の芸術祭」を開催しました。

芸術祭を一過性の取り組みで終わらせず、継続して開催することで、本市の文化芸術の振興に大きな役割を果たすことができると考え、芸術祭の定期的な開催に向けて、「千葉市芸術祭基本構想」を策定し、令和7年度に「千葉国際芸術祭 2025」として開催を予定しています。

なお、令和7年度以降も、本芸術祭を定期開催していくことで、本市の魅力を国内外 問わず広く発信して文化芸術による多様な交流を生み出し、文化芸術にあふれた創造性 豊かな街となることを目指します。

### 2 アンデパンダン展とは

「アンデパンダン展」とは、審査なくどなたでも作品を発表できる展覧会の形式です。「アンデパンダン」はフランス語ですが、英語では「インディペンデント(独立、自立、無所属の人)」と訳されます。主体的に独自の道を貫き作品を制作するアーティストたちの心持ちを表現している言葉とも言えます。アートは、特定の人だけが表現するものではなく、誰もがつくり関わることができる大きな器を持っています。(千葉国際芸術祭2025 公式ティザーサイトから引用)

## 3 総合ディレクター 中村 政人(なかむら まさと)氏プロフィール

アーティスト/東京藝術大学美術学部教授・副学長

1963 年秋田県大館市生まれ。1993 年「The Ginburart」(銀座)、1994 年の「新宿少年アート」(歌舞伎町) でのゲリラ型ストリートアート展。秋葉原電気街を舞台に行なわれた国際ビデオアート展「秋葉原 TV」(1999~2000)、「ヒミング」(富山県氷見市)(2004~2016 年)、「ゼロダテ」(秋田県大館市)(2007~2019 年) など、地域コミュニティの新しい場をつくり出すアートプロジェクトを多数展開。



中村政人氏

1997年よりアート活動集団「コマンド N」を主宰。2010年民設民営の文化施設「アーッチ代田 3331」(東京都千代田区)(2010~2023年3月閉館)を創設。地域に開かれたアートセンターとして、約13年間運営を行う。

2001 年第 49 回ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館に出品。マクドナルド社の CI を使ったインスタレーション作品が世界的注目を集める。

2020年より「東京ビエンナーレ」の総合ディレクターを務める。

著書に「美術と教育」(1997)、写真集「明るい絶望」(2015)、「新しいページを開け!」(2017)、「アートプロジェクト文化資本論:3331から東京ビエンナーレへ」(2021)。

平成 22 年度芸術選奨受賞。2018 年日本建築学会文化賞受賞。